

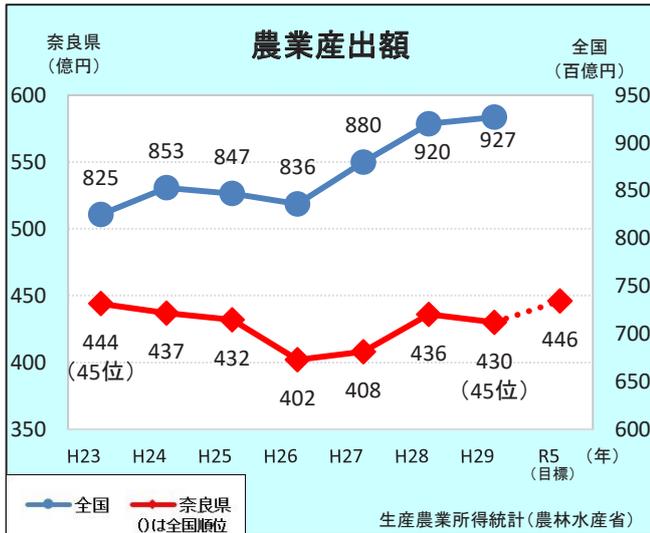
農・畜産・水産業の振興と農村の活性化

目指す姿

令和5(2023)年までに、農業産出額を446億円に増加させます。

主担当部局(長)名
農林部長 杉山 孝

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

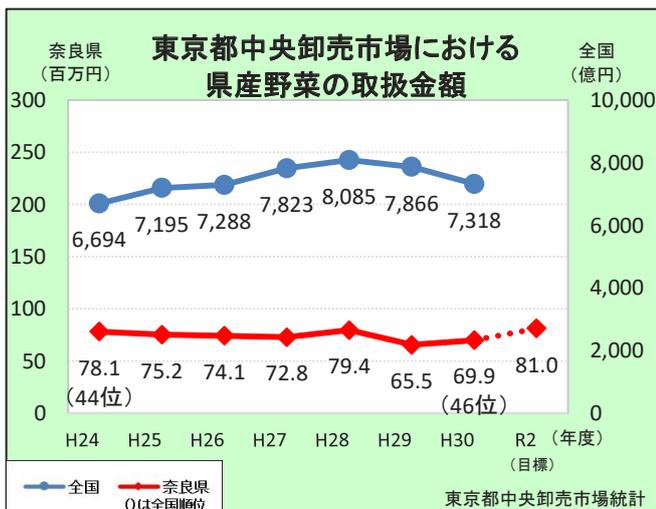


指標	農業産出額(億円)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	444		430	基準値を下回っています	446
進捗状況	H23 (2011)	14 億円	H29 (2017)	6 / 12 年目	R5 (2023)
	新規就農者の確保や、高品質生産への支援等により、農業産出額の増加に取り組んでいるものの、花きの単価変動等による生産額の減のほか、全国的な米価の回復により高収益作物への転換や、担い手への農地集積が進み難い状況であること等から、平成29年の農業産出額は430億円と、平成28年より6億円減少しました。今後も引き続き、農業産出額を増加する取組を進めていきます。				

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略 県産農産物の販路拡大と美味しい「食」づくりを推進します。

主担当課(長)名
マーケティング課長 原 実



指標	東京都中央卸売市場における奈良県産野菜の取扱金額(百万円)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	78.1		69.9	▲282.8%	81.0
進捗状況	H24 (2012)	8.2 百万円	H30 (2018)	6 / 8 年目	R2 (2020)
	全国一の青果物取扱量を誇る東京都中央卸売市場において、奈良県産青果物は、大和丸なす等が主に取引されています。平成30年度は、大和野菜等の販路開拓に取り組んだことにより、東京都中央卸売市場における奈良県産野菜の取扱金額は、天候不良等により大きく落ち込んだ平成29年度から4.4百万円増加しています。引き続き、目標達成に向けて市場でのセールス等に取り組んでいきます。				

主な成果

- ・奈良の柿の輸出量が平成30年に40tとなり、平成26年より16t増加しました。
- ・奈良県プレミアムセレクト認証団体数[累計]が平成28年の5団体から平成30年に7団体に増加しました。
- ・「人・農地プラン」の作成地区数[累計]が平成24年の74地区から平成30年に154地区に増加しました。
- ・「ならグリーンツーリズム」HPへのアクセス件数が平成27年の39,829件から平成30年に85,412件に増加しました。